Planningデモ環境構築手順（SP20140801版）

≪Planningのインストールから各種初期設定までの手順≫

※PAL掲載のデモデータ（SP20140801版）によるCORE環境があることを前提とします

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **１．Windows環境のUPDATE**  ①PlanningのCDをセットすると、自動的に  インターネットエクスプローラが起動し、「SuperStream-Planning Version3」の画面  が表示されます。  ※インターネットエクスプローラが自動起動しない場合は、CD-ROMルート上の「index.html」をクリックしてください  画面の指示に従って   * Windowsインストーラー3.1のインストール * .NetFramewrork2.0のインストール   をそれぞれ実行してください。 |  | |
| **２．PowerPlayのインストール**  ①Planning同梱のPowerPlay7.5インストール用CDをセットすると、自動的にインストーラーが起動します。  「PowerPlayUserをインストール」をクリックします。  注）インストーラーが起動しない場合は、CD-ROMルート上の「SETUP.EXE」をクリックして下さい。 |  | |
| ②インストーラーウィザード画面が表示されます。「次へ」ボタンをクリックします。 |  | |
| ③使用許諾契約画面が表示されます。契約内容を一読し、同意できるときには「同意する」を選択した後、「次へ」ボタンをクリックします。 |  | |
| ④ユーザー情報画面が表示されます。「名前」と「会社名」のフィールドに、登録するユーザー名と会社名を入力した後、「次へ」をクリックします。 |  | |
| ⑤セットアップ方法の選択画面が表示されます。「カスタム」を選択した後、「次へ」をクリックします。 |  | |
| ⑥コンポーネントの選択画面が表示されます。デフォルトの選択項目に、「PowerPlay Transformer」を追加選択し、「次へ」ボタンをクリックします。  注）正常に動作する為には、「PowerPlay Transformer」を含めた次のチェックボックスが選択済みとなっている必要があります。  　・PowerPlay for Windows  ・PowerPlay for Excel  ・PowerPlay for Transformer  ・PowerPlay Userツール  ・PowerPlay Userサンプル |  | |
| ⑦インストール先の選択画面が表示されます。インストール先を確認し、「次へ」ボタンをクリックします。  注）インストール先を変更する場合には、〔．．．〕ボタンから変更を行ってください。  注）右記のインストール先メッセージが表示された場合、「はい(Y)」ボタンをクリックして下さい。  ⑧ショートカットフォルダ追加画面が表示されます。必要に応じて、フォルダを指定した後、「次へ」ボタンをクリックして下さい。 |  | |
| ⑨これまでに選択した内容を示す「インストールの概要」画面が表示されます。表示内容を確認した後、「次へ」ボタンをクリックして下さい。 |  | |
| ⑩インストール作業が開始され、進行状況が表示されます。作業が終了すると、「コンポーネントの選択」画面が表示されます。  「Configration Managerを開いてコンポーネントの設定をカスタマイズ」を選択し、「次へ」ボタンをクリックして下さい。 |  | |
| ⑪「Configration Manager」が起動し、「ようこそ」画面が表示されます。「開始」タグを選択します。 | PL2.jpg | |
| ⑫「現在の設定を開く」ボタンをクリックします。 | PL3.jpg | |
| ⑬現在の設定が「Configration Manager」に表示されます。  **手順1．**画面左の階層上で、「IBM **Cognos PowerPlay**」をクリックします。  **手順2．**操作メニューで、「選択項目を検証」をクリックします。”コンポーネントIBM Cognos PowerPlayの設定を検証します。実行しますか。”というメッセージが表示されます。「はい」ボタンをクリックして実行して下さい。  手**順３．**操作メニューで、「選択項目を適用」をクリックします。”コンポーネントIBM Cognos PowerPlayの設定を適用します。実行しますか。”というメッセージが表示されます。「はい」ボタンをクリックして実行して下さい。  注）適用作業を実行すると、右記の警告メッセージが表示されます。***SuperStream-Planning***では、Access Managerを使用していないため、このメッセージが示す内容の影響を受けません。「OK」ボタンをクリックして作業を続行して下さい。 | 手順1.クリック  手順2.選択項目を検証  手順3.選択項目を適用  注) | |
| ⑭画面左の階層上で  ・Cognos PowerPlay for Excel  を選択し、項番⑬の手順1～3作業を行ってください。同様に、  ・Cognos PowerPlay Transformer  を選択し、項番⑬の手順1～3作業を行ってください。 |  | |
| ⑮「ファイル」メニューから「終了」をクリックし、Configration Managerを終了します。  「終了」画面が表示されますので、「終了」ボタンをクリックして、PowerPlayのインストール作業を終了します。  以上で、PowerPlayのインストールは終了です。 |  | |
| **３．*SuperStream-Planning*のインストール**  ①SuperStream-Planningのインストールを行いま  す。PlanningのCDをセットすると、自動的に  インターネットエクスプローラが起動し、「SuperStream-Planning Version3」の画面  が表示されます。  画面をスクロールし、「SuperStream-Planning  のインストール」というハイパーリンクを  クリックし、インストールを開始します。  ※インターネットエクスプローラが自動起動しない場合は、CD-ROMルート上の「index.htm」をクリックして下さい。 |  | |
| ②インストールフォルダの指定画面が表示されます。インストール先を確認し、「次へ」ボタンをクリックします。  注）インストール元は、CD-ROMのドライブです。インストール先を変更する場合には、「参照」ボタンをクリックして変更を行って下さい。 |  | |
| ③インストール種類の選択画面が表示されます。「新規」を選択し、「次へ」ボタンをクリックします。  注）既にSuperStream-Planningがインストールされている端末に、何らかの理由によって再度インストールを行おうとしているときには、上書きされます。また、上書き前の状態に戻す事はできません。  「アップグレード」インストールの手順については、お使いのバージョンに対応する『リリースノート』を確認して下さい。 |  | |
| ④取り扱い科目の選択画面が表示されます。いずれかを選択し、「次へ」ボタンをクリックして下さい。 |  | |
| ⑤インストールの開始画面が表示されます。「インストール」ボタンをクリックして下さい。  インストール作業が完了すると、”インストールが完了しました。”というメッセージが表示されます。「OK」ボタンをクリックすると、Planning installerが終了します。  以上で、SuperStream-Planningのインストールは終了です。 |  | |
| **４.システム設定**  ①Planningを起動してCORE側との接続を行ないます。  「手順例」→「システム設定」  １.ホスト名/ユーザー名/パスワードの入力を行い、接続テストボタンを押します。  ２.会社コード/システム区分を入力し、コード取得ボタンを押してください。  ３.機能コード等に誤りがなければ、「F10」保存→「F12」終了→メニュー起動の手順で進めてください。 | PL4.jpg | |
| ②システム設定終了後、Windowsエクスプローラー上で「CallODBCSetting.exe」を1回のみ実行して下さい。  exeファイルは、Planningインストール先に格納されています。  \ssjPlanning\CallODBCSetting.exe  ※同じことを複数回実行すると2度目以降は下記のエラーが出ますが無視して結構です。 |  | |
| ③PlanningのCDから自動起動された  インターネットエクスプローラ上に記載の手順にそって、「データベースモジュールのインストール」も行ってください。 |  | |
| ④COREのマスタデータ取り込みを行います。  「手順例」→「マスタデータ取込み」  １.「初期化して取込む」を選択します。  ２.「一括処理」ボタンを押します。（全てのマスタが対象になります。）  ※エラー科目が存在しています（下位にメンバをもたない集計科目が･･･）という警告が出ますが、無視して結構です。 | PL5.jpg | |
| ⑤マスタデータの取込が完了すると、右記のようにチェックマークが付きます。  「終了」ボタンをクリックして、マスタデータの取込処理を終了します。 | PL5.jpg |
| ⑥実績データを取込みます。  「手順例」→「実績データ取込」  １. 取込みを行なう期間の指定を行います。  　期間：2009/04～2012/03  ２．右記画面の通り、各項目をチェックします。  ３.「F11」実行ボタンを押すと、取込が開始されます。取り込み終了後、「F12」終了ボタンを押して、取込み処理を終了します。  ※１　キューブ作成をチェックすると、この画面からキューブを作成（実績）する事もできます。 | PL6.jpg  ※１ |
| ⑦予算データを取り込みます。  「予算」→「予算データ取込」  １.取込む期間を指定します。  （2010/04～2011/03）  ２．「全初期化取込み]を指定します。  ３.「CORE情報」の「1000当初予算」をクリックします。  ４．「選択用Planning予算データタイプ情報」の「7当初予算」をクリックし、「矢印キー」で「Planning情報欄」へ指定します。  ５．選択終了後、「F11」実行  ⑧続けて、次年度分の予算データを取り込みます。  １.取込む期間を指定します。  （2011/04～2012/03）  ２．「指定された予算データタイプの開始年月以降初期化する]を指定します。  ３.「CORE情報」の「1000当初予算」をクリックします。  ４．「選択用Planning予算データタイプ情報」の「7当初予算」をクリックし、「矢印キー」で「Planning情報欄」へ指定します。  ５．選択終了後、「F11」実行→「F12」終了  ※次年度以降分も同様の手順で必要に応じて取り込んで下さい。 | PL13.jpg  100当初予算クリック  7当初予算クリック  PL12.jpg |
| ⑨キューブの生成  ・最後にキューブを作成します。  「キューブ作成ｸﾞﾙｰﾌﾟ」→「キューブ作成」  この処理は、数分かかります。 |  |
| ⑩キューブのテスト起動  念のためWindowsエクスプローラー上から、  \ssjPlanning\PLDB\PLDB2.mdc  を直接ダブルクリックして起動してください。  起動を確認したらすぐ終了して結構です。  （変更を保存しますかのメッセージは「いいえ」で終了してください）  以上でPlanningの環境設定が完成しました。 |  |
| その他の設定  １．ExcelAddinツール対応  　PowerPlay ReportファイルをExcelブックファイル形式に変換して出力する事ができます。ご利用のお客様は、PlanningのCD-ROMよりインストールを行ってください。 |  |

Planningレポーティング機能デモ実施例

※上記デモ環境構築手順で作成したPlanning環境を用いて自由にデモを行うことができますが、何を操作すれば分からない方のために一例を載せますので参考にしてください。

|  |  |
| --- | --- |
| **事前準備**  Planningをインストールしたフォルダの配下に以下のファイルがあるのでメモ帳で開きます  \ssjPlanning\PLDB\ssolap.ini  下の方に存在しているDimName1以降の行について右記の通りに修正して保存してください。  ※これによってレポート画面上での各ディメンションの表記が日本語になって分かりやすくなります |  |
| キューブを再度作成します。  「キューブ作成ｸﾞﾙｰﾌﾟ」→「キューブ作成」  この処理は、数分かかります。 |  |
| 添付の「全社PL予実対比.ppr」を  \ssjPlanning\WORK  のフォルダにコピーして保存してください。 |  |
| **デモ実施**  ①Planningを起動  「レポート」→「レポート作成履歴」を開くと、  全社PL予実対比が存在するのでそれを選択して実行してください。 |  |
| ②保存されたフォーマットのレポートが開きます  （データは最新キューブから取得されてます）  縦軸にPL科目、横軸は実績、予算、対比が並んでいることを説明してください。  ※うまく表示されない場合は前ページの【事前準備】が誤っていると思われますので、準備作業を見直ししていただくか、または同等のレポートをレポート作成機能で新規作成してください。 | PL7.jpg |
| ③ドリルダウンを説明します。「売上総利益」をダブルクリックすることで階層をドリルダウンできることを説明します。 | PL8.jpg |
| ④左側のディメンション表示から、組織の階層を本支店レベルまで開いておきます。  ※ディメンション表示がされていない場合は、メニューから表示→ディメンションの表示を実行してください | PL9.jpg |
| ⑤組織の軸の追加  ディメンション表示から、「東京本社」「大阪支社」「名古屋支社」の3つの値を選択し、ドラック＆ドロップの操作で縦軸に追加してください。  これによって売上や利益等の各科目を、組織別に把握することができています | PL9.jpg |
| ⑤組織の階層のドリルダウン  組織の階層もダブルクリックでドリルダウンができます。  「東京本社」をダブルクリックし、さらに「東京営業部」をダブルクリックすると3つの営業部ごとの売上高の予算・実績・対比が確認できます。 | PL10.jpg |
| ⑦商品の軸の追加  「東京第二営業G」の製品売上高を商品別に分析します。  左側のディメンション表示から、商品の「仕入商品A」「仕入商品B」「仕入商品C」の3つを選択して縦軸の「東京第二営業G」のところにドラック＆ドロップで追加します。  これによって、「東京第二営業G」の売上高の内訳を分析することが可能です。 | PL11.jpg |